

2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年4月26日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL http://www.makino.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 永野 敏之 (TEL) 046-284-1439
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 配当支払開始予定日 2019年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	204,709	12.8	20,671	37.6	21,956	39.4	16,981	45.2
2018年3月期	181,547	18.2	15,023	55.5	15,752	57.5	11,694	53.9

(注) 包括利益 2019年3月期 12,923百万円(△13.0%) 2018年3月期 14,850百万円(25.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	689.30	—	10.9	8.2	10.1
2018年3月期	511.29	—	8.4	6.1	8.3

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	269,521	160,946	59.4	6,550.28
2018年3月期	268,382	152,519	56.5	6,095.31

(参考) 自己資本 2019年3月期 160,114百万円 2018年3月期 151,723百万円

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	15,314	△8,705	△7,638	48,827
2018年3月期	15,311	△9,527	△6,973	49,785

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00	2,000	16.6	1.4
2019年3月期	—	9.00	—	60.00	—	2,576	15.2	1.7
2020年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00	—	30.2	—

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	△13.9	2,400	△70.5	2,700	△69.4	1,600	△75.8	65.46
通期	179,000	△12.6	12,000	△42.0	12,500	△43.1	9,700	△42.9	396.83

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更： 有
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	24,893,841株	2018年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2019年3月期	449,837株	2018年3月期	1,996株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	24,635,158株	2018年3月期	22,871,796株

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	108,674	17.7	7,955	111.8	11,781	102.8	9,248	93.2
2018年3月期	92,329	17.4	3,756	119.3	5,808	81.3	4,786	69.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	375.40		—					
2018年3月期	209.29		—					

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭			
2019年3月期	170,492	56.5	96,336	56.5	3,941.11			
2018年3月期	175,614	54.7	96,056	54.7	3,858.94			

(参考) 自己資本 2019年3月期 96,336百万円 2018年3月期 96,056百万円

※ 2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における、連結売上高は2,047億9百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益206億71百万円（前年同期比37.6%増）、経常利益219億56百万円（前年同期比39.4%増）、純利益169億81百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

当年度の連結受注は2,019億63百万円（前年同期比2.0%増）で前年度並みとなりました。

上期は全地域で受注が好調に推移しました。下期は米中貿易問題の影響により、中国とアメリカを中心に受注が減少に転じました。

当年度の報告セグメント別の受注状況（現地通貨ベース）は以下のとおりです。（当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成されています。詳細については12ページを参照ください）

セグメントⅠ（牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社）

牧野フライス製作所の国内受注は前年度を上回りました。

半導体製造装置やロボットを中心とした一般機械や、自動車の部品加工向けが好調に推移しました。

セグメントⅡ（MAKINO ASIA PTE LTD）

アジアは前年度を上回りました。

中国向けは下回りました。前年度に比べ、スマートフォンの金型向け、半導体製造装置を含む一般機械の部品加工向けが減少しました。自動車の部品加工向けでは、高品質化や自動化のための設備投資が継続しました。自動車の内装などの大物金型や、電気電子部品の金型向けが増加しました。

インドは自動車の部品加工向けが増加したことで、前年度を上回りました。

アセアンでは、自動車、航空機、一般機械等様々な産業で受注があり、前年度を上回りました。

セグメントⅢ（MAKINO INC.）

前年度をわずかに下回りました。

航空機向けが受注の集中した前年度に対し減少しました。

自動車の部品加工向けは前年度並みでした。下期以降、引き合い状況が悪化し、第4四半期には顧客の設備投資の先送りが出てきました。

セグメントⅣ（MAKINO Europe GmbH）

ヨーロッパは航空機向けが増加したことにより、前年度を上回りました。

一般機械の部品加工向けは減少しました。景気の先行き不安から、顧客が設備投資に慎重になっています。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億39百万円増加し、2,695億21百万円となりました。主な増減としては、投資有価証券67億16百万円の減少、棚卸資産43億14百万円の増加、受取手形及び売掛金22億67百万円の増加などが挙げられます。

負債につきましては、長期借入金68億15百万円の減少、社債50億円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ72億87百万円減少し、1,085億74百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金144億90百万円の増加、その他有価証券評価差額金47億59百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ84億26百万円増加し、1,609億46百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益220億円、減価償却費58億37百万円、棚卸資産の増加35億20百万円、仕入債務の減少28億40百万円などにより、153億14百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出83億24百万円などにより、87億5百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出112億56百万円、社債の発行による収入50億円、配当金の支払額22億28百万円などにより、76億38百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ9億58百万円減少し、488億27百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	47.7	49.7	51.1	56.5	59.4
時価ベースの自己資本比率	46.3	32.4	42.9	46.3	41.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.9	2.3	3.9	2.5	2.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	17.0	52.9	34.3	45.9	50.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務諸表により算出しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債(リース債務を除く)を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の受注は当期に比べ減少する見通しです。中国、およびアメリカを中心に受注が減少することと、為替レートが円高となる想定であり、円換算した受注額が減少するためです。

上期は前年度下期の状況が継続し、下期には回復に向かうとみています。

次期の報告セグメント別の受注見通し(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

セグメントⅠ(牧野フライス製作所「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は、当期並みとなる見通しです。

当期に比べ、大きな引き合いが少ない中、自動車の部品加工向け受注は継続するとみています。

航空機向けは、期初より受注が出始めています。

下期以降に半導体製造装置の部品加工向けの受注が増加するとみています。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアは中国の減少により、当期を下回る見通しです。

中国は、下期からスマートフォンの金型向けの受注が上向くとみています。自動車の部品加工向けは、品質向上や生産の自動化のための設備投資が継続していることに加え、中国政府の減税政策の効果による受注が下期に出てくるとみています。自動車の金型向けについても同様に、政府の消費刺激策により、当第4四半期から継続している減少傾向が上向くとみています。

インドは自動車と二輪向けの部品加工向け受注を中心に、当期並みとなる見通しです。
アセアンはベトナム市場からの受注増により当期を上回る見通しです。

セグメントⅢ (MAKINO INC.)

当期を下回る見通しです。

自動車のSUVやトラック、医療の部品加工向けの引き合いは堅調を維持しており、受注が大きく減少することはないとみています。

航空機向けは堅調に推移するとみています。その中で、一部の航空機材の減産による影響が出てくるとみています。

セグメントⅣ (MAKINO Europe GmbH)

当期並みとなる見通しです。

航空機向けでは増産のための設備投資が続くとみています。

一般機械や自動車の部品加工向けは、欧州の販売体制の強化によって受注を維持する見通しです。

当社グループの2020年3月期の連結業績予想は、次のとおりです。

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期 連結累計期間	79,000	△13.9	2,400	△70.5	2,700	△69.4	1,600	△75.8
通 期	179,000	△12.6	12,000	△42.0	12,500	△43.1	9,700	△42.9

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,175	49,215
受取手形及び売掛金	51,134	53,402
有価証券	38	39
商品及び製品	16,656	17,916
仕掛品	14,822	13,192
原材料及び貯蔵品	27,633	32,317
その他	7,492	6,356
貸倒引当金	△757	△775
流動資産合計	167,196	171,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	70,684	73,839
減価償却累計額	△39,944	△41,593
建物及び構築物(純額)	30,740	32,246
機械装置及び運搬具	21,862	24,843
減価償却累計額	△15,462	△15,757
機械装置及び運搬具(純額)	6,400	9,086
工具、器具及び備品	16,894	18,530
減価償却累計額	△12,723	△13,757
工具、器具及び備品(純額)	4,171	4,772
土地	17,769	17,427
リース資産	2,119	1,865
減価償却累計額	△1,087	△943
リース資産(純額)	1,031	922
建設仮勘定	3,742	1,427
有形固定資産合計	63,855	65,882
無形固定資産		
その他	3,550	3,838
無形固定資産合計	3,550	3,838
投資その他の資産		
投資有価証券	27,544	20,828
長期貸付金	366	559
繰延税金資産	3,392	3,773
退職給付に係る資産	201	195
その他	2,663	3,132
貸倒引当金	△388	△353
投資その他の資産合計	33,779	28,135
固定資産合計	101,185	97,855
資産合計	268,382	269,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,849	16,784
電子記録債務	19,613	16,490
短期借入金	1,196	3,364
1年内返済予定の長期借入金	11,256	7,725
リース債務	249	216
未払法人税等	3,085	3,701
その他	26,188	26,027
流動負債合計	77,438	74,309
固定負債		
社債	5,000	10,000
長期借入金	20,687	13,872
リース債務	975	856
繰延税金負債	6,217	4,155
役員退職慰労引当金	89	99
退職給付に係る負債	4,250	4,047
その他	1,202	1,234
固定負債合計	38,423	34,265
負債合計	115,862	108,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,070	37,070
利益剰余金	81,292	95,782
自己株式	△6	△2,009
株主資本合計	139,499	151,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,583	10,823
為替換算調整勘定	△616	79
退職給付に係る調整累計額	△2,743	△2,774
その他の包括利益累計額合計	12,224	8,128
非支配株主持分	796	831
純資産合計	152,519	160,946
負債純資産合計	268,382	269,521

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	181,547	204,709
売上原価	125,478	139,746
売上総利益	56,068	64,962
販売費及び一般管理費	41,044	44,290
営業利益	15,023	20,671
営業外収益		
受取利息	183	317
受取配当金	461	758
受取賃貸料	234	259
その他	562	507
営業外収益合計	1,443	1,842
営業外費用		
支払利息	305	265
社債利息	25	41
為替差損	283	109
その他	100	142
営業外費用合計	714	558
経常利益	15,752	21,956
特別利益		
固定資産売却益	51	179
投資有価証券売却益	194	246
特別利益合計	246	425
特別損失		
固定資産除却損	44	54
減損損失	-	327
特別損失合計	44	381
税金等調整前当期純利益	15,954	22,000
法人税、住民税及び事業税	4,066	5,526
法人税等調整額	146	△546
法人税等合計	4,213	4,980
当期純利益	11,740	17,020
非支配株主に帰属する当期純利益	46	39
親会社株主に帰属する当期純利益	11,694	16,981

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	11,740	17,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,111	△4,761
為替換算調整勘定	△572	695
退職給付に係る調整額	571	△31
その他の包括利益合計	3,109	△4,097
包括利益	14,850	12,923
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,800	12,885
非支配株主に係る包括利益	50	37

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,263	32,602	71,090	△5,633	117,322
会計方針の変更による累積的影響額					-
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,263	32,602	71,090	△5,633	117,322
当期変動額					
転換社債型新株予約権付社債の転換	1,879	4,468		5,631	11,980
剰余金の配当			△1,760		△1,760
親会社株主に帰属する当期純利益			11,694		11,694
自己株式の取得				△4	△4
その他			268		268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,879	4,468	10,201	5,627	22,177
当期末残高	21,142	37,070	81,292	△6	139,499

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,473	△43	△3,312	9,117	750	127,190
会計方針の変更による累積的影響額						-
会計方針の変更を反映した当期首残高	12,473	△43	△3,312	9,117	750	127,190
当期変動額						
転換社債型新株予約権付社債の転換						11,980
剰余金の配当						△1,760
親会社株主に帰属する当期純利益						11,694
自己株式の取得						△4
その他						268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,109	△572	569	3,106	46	3,152
当期変動額合計	3,109	△572	569	3,106	46	25,329
当期末残高	15,583	△616	△2,743	12,224	796	152,519

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,142	37,070	81,292	△6	139,499
会計方針の変更による累積的影響額			△259		△259
会計方針の変更を反映した当期首残高	21,142	37,070	81,032	△6	139,239
当期変動額					
転換社債型新株予約権付社債の転換					-
剰余金の配当			△2,230		△2,230
親会社株主に帰属する当期純利益			16,981		16,981
自己株式の取得				△2,003	△2,003
その他					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	14,750	△2,003	12,746
当期末残高	21,142	37,070	95,782	△2,009	151,986

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,583	△616	△2,743	12,224	796	152,519
会計方針の変更による累積的影響額						△259
会計方針の変更を反映した当期首残高	15,583	△616	△2,743	12,224	796	152,260
当期変動額						
転換社債型新株予約権付社債の転換						-
剰余金の配当						△2,230
親会社株主に帰属する当期純利益						16,981
自己株式の取得						△2,003
その他						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,759	695	△31	△4,095	35	△4,060
当期変動額合計	△4,759	695	△31	△4,095	35	8,686
当期末残高	10,823	79	△2,774	8,128	831	160,946

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,954	22,000
減価償却費	5,789	5,837
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	333	△200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	158	△34
受取利息及び受取配当金	△645	△1,075
支払利息	330	306
為替差損益 (△は益)	2	△5
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△194	△246
有形固定資産売却損益 (△は益)	△51	△179
有形固定資産除却損	44	54
減損損失	-	327
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,007	△1,484
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,224	△3,520
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,722	△2,840
その他	3,794	359
小計	17,006	19,297
利息及び配当金の受取額	645	1,076
利息の支払額	△333	△306
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,006	△4,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,311	15,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	150	-
有形固定資産の取得による支出	△8,827	△8,324
有形固定資産の売却による収入	297	602
投資有価証券の取得による支出	△4	△6
投資有価証券の売却による収入	258	354
その他	△1,400	△1,330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,527	△8,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,294	2,164
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△331	△310
長期借入れによる収入	5,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△8,578	△11,256
社債の発行による収入	-	5,000
自己株式の取得による支出	△4	△2,003
配当金の支払額	△1,760	△2,228
非支配株主への配当金の支払額	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,973	△7,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△153	70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,343	△958
現金及び現金同等物の期首残高	51,128	49,785
現金及び現金同等物の期末残高	49,785	48,827

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

従来、当社及び一部の国内関係会社における原材料及び貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法を採用していましたが、当連結会計年度より移動平均法に変更しております。この変更は、在庫管理システムの変更を契機に、より適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行っておりません。

「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)

一部の在外連結子会社において「顧客との契約から生じる収益」(IFRS第15号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。IFRS第15号の適用については、IFRS第15号の経過的な取扱いに従って、当連結会計年度の期首において、累積的影響額を利益剰余金に加減しております。この変更による当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理の方法と同一であり、報告セグメントの利益又は損失は営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	53,167	57,215	54,625	16,538	181,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,071	9,786	618	49	74,525
計	117,239	67,001	55,243	16,588	256,073
セグメント利益	7,324	5,880	1,873	462	15,540
セグメント資産	201,458	63,569	37,865	15,964	318,858

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	I	II	III	IV	
売上高					
外部顧客への売上高	65,683	60,213	58,961	19,851	204,709
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69,819	9,971	423	123	80,337
計	135,502	70,184	59,384	19,975	285,046
セグメント利益	12,633	5,873	2,203	715	21,425
セグメント資産	194,642	63,647	43,806	15,431	317,528

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	256,073	285,046
セグメント間取引消去	△74,525	△80,337
連結財務諸表の売上高	181,547	204,709

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	15,540	21,425
セグメント間取引消去	△516	△753
連結財務諸表の営業利益	15,023	20,671

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	318,858	317,528
セグメント間取引消去等	△50,476	△48,007
連結財務諸表の資産合計	268,382	269,521

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,095.31円	1株当たり純資産額	6,550.28円
1株当たり当期純利益	511.29円	1株当たり当期純利益	689.30円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2018年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	152,519	160,946
普通株式に係る純資産額(百万円)	151,723	160,114
差額の主な内訳(百万円)		
非支配株主持分	796	831
普通株式の発行済株式数(株)	24,893,841	24,893,841
普通株式の自己株式数(株)	1,996	449,837
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	24,891,845	24,444,004

(2) 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	11,694	16,981
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	11,694	16,981
普通株式の期中平均株式数(株)	22,871,796	24,635,158

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

受注及び販売の状況

①受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	63,918	31.7	+3.4
II	61,611	30.5	+4.0
III	56,600	28.0	-0.3
IV	19,832	9.8	-1.5
合計	201,963	100.0	+2.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

②受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度末 2019年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	25,045	39.8	-6.2
II	12,191	19.4	+11.8
III	14,131	22.5	-14.3
IV	11,480	18.3	-0.2
合計	62,848	100.0	-4.2

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

③販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当連結会計年度 自 2018年4月1日 至 2019年3月31日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	65,683	32.1	+23.5
II	60,213	29.4	+5.2
III	58,961	28.8	+7.9
IV	19,851	9.7	+20.0
合計	204,709	100.0	+12.8

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。